

結婚しないまま40代半ばを迎えた俺は  
周りから勧められ、お見合いをする為にしぶしぶ  
結婚相談所に登録をした。

イケメンではないが  
安定した職に就いていて収入面も悪くないし、貯金もある。  
だから見合い相手は割とすぐに見つかった。

その相手には娘がいて  
娘を養ってくれる人が条件とのことだった。

とにかく若い娘が好きだった俺は  
年の近い見合い相手に  
特に感心を持っていなかっただが  
相手の娘の写真に目を奪われ、結婚を決めた。

結婚したらもれなく可愛い娘がついてくる。  
こんないい話はないと思った。

そしてマリアと初めて出会ったのは、  
結婚して一緒に暮らすことになってからの事だった。

。。。。。

ほら……  
お父さんにご挨拶して



…マリアです

ああ…マリアっていうのか  
良い名前だね  
よろしく

俺は握手を求めて手を差し出す。



俺は仕方なく手を引っ込める。

えっと…

だが、マリアは何も反応せず  
ただ俺を吟味するようにつめていてる。

……



…この子、愛想があまり良くないけど  
こういう子だから気にしないでね

ああ…

俺の方はそんなことは些細なことだと思った。  
予想以上の可愛さに、俺はすっかり目を奪われていたからだ。

ああくそっ…やっぱり若いっていいよなあ。  
マリアとやりたい…



そしてマリアとの同居生活が始まった。

マリアは俺が話しかけても  
まともに口を聞こうとせず  
ほとんど無視した様子だった。

無視されるのは当然辛い  
それが逆に好都合だったところもある。


俺は周囲からはまじめな男と思われているが誰にも言えない性癖がある。

マリアのような若い女の子がとにかく好みでそういう子を狙ってはバレないようにパンチラ盗撮をたまに行ったりしていた。

仕事を失うリスクと天秤にかけると頻繁にはできなかつたが身内ならば仮に見つかったとしても色々と言ひ逃れはできるだろう。

俺はマリアの部屋を用意する前に予め隠しカメラを仕掛けておいた。以来、こっそりと覗き見していた。

着替えシーンはばつちりカメラに収めることができたしそれをオカズにもさせてもらった。



着替えシーンは  
ぱつちりカメラに収めることができたし  
それをオカズにもさせてもらった。

そして行為はだんだんエスカレートしていき

彼女が風呂に入っている好きを狙い  
下着の匂いを嗅いだりという  
危険な行為にまで及んでいた。

※体験版用の文章です。  
実際にはここで漫画が挿入されます。



そしてマリアと一緒に暮らしてしばらく経ったある日。  
妻が夜、友達と遊ぶと言って家を出た。

妻はずいぶん社交的なようで  
結婚して少し経ってから  
頻繁に友人と遊びに行くようになった。

再婚して早々マリアを放っておいて  
よくもまあでかけられたもんだ。

まあアイツがどこへ行こうと正直どうでもいい。  
アイツとはキスやセックスもしたこともないし  
そもそも好きでもない。

それよりもマリアと一緒になれるということが  
とにかく嬉しい。

今日もマリアの部屋にしかけた隠しカメラで  
マリアの様子を観察しながらオカズにするか…

そう思っていた時、  
マリアが突然俺に話しかけてきた。

おじさん

ん…なんだい？

ちょっと部屋に  
来てほしいんですけど

ん？ああ…

部屋に誘うとは一体どういうことだ？  
普段俺に話しかけてくることもほとんどのに…



部屋に入ると、マリアはベッドの上に座っていた。  
俺はそのままマリアの前に立つ。

無表情で何を考えているのかは分からないが  
何やら重苦しい雰囲気であることは理解できた。

それで：  
なんの用だい？

おじさん  
私に興味があるんですか？

…ん？  
どういふことだ？



わたしがお風呂に入ってる時に  
パンツの匂い嗅いでますよね

一体…  
なんの「と」かな…

カメラも部屋に仕掛けて…  
着換えも何度が覗いたりも  
してるようですし

!

おいおい、嘘だろう…  
まさかカメラまでバれているとは…

知らないなあ…  
カメラなんて

ここは中古で買った家だから…  
多分前住んでた人が  
設置してたのかもしれないな

…そう言うかと思ってました

じゃあこっつしても  
目を背けられますか？

マリアは突然俺の前で  
ためらいもなくスカートをまくった

！な…なにを

ぴ  
ら  
っ  
っ



くそっ……目が離せない……

…どうしたんですか？  
私に興味がないなら  
見ないですよね

……



いつも匂い嗅いでましたよね  
このパンツ…

……ゴクッ

興味  
あるんですよね？

…ああ

俺は思わず誘い込まれるように返事をしてしまう。



どうですか？おじさん…

五千円くれたら  
このパンツあげてもいいですよ

なっ…!!  
それはまるで…



援交みたい…  
と言いたいんですか？

!?

そんなに驚いた顔して…  
援交するような子に見えないですか？  
こんなの結構普通ですよ



今まで無口な子だと思っていたが  
こんなに黒い子だったのか…

どうですか？  
断りますか？

くっ…わかった…  
五千円あげるから  
パンツをくれ…



ちなみに  
オブションもありますよ

え……？

そ…そんなことまで  
するのか!?

もう五千円くれたら  
パンツをここで脱いで  
脱ぎたてのパンツで手コキしてあげます



どうしますか？

分かったっ…  
あげるから手コキしてくれ…!!

分かりました  
(ふん…男なんて  
結局こんなものね)




生脱ぎキタ……!!



!?

スルスルっ。  
マリアはおみ足を持ち上げ  
俺に見せ付けるようにゆっくりとパンツを脱ぎ始めた。

スルッ



やっぱりオマンコはツルツルに限るよなあ。  
是非脳裏に納めなければ！

俺は自然と目の前の光景に釘付けになる。  
カメラではなかなか捉えることができなかった  
ワレメがバツチリと見て取れた。

おおお…

挑発的な顔をして……  
それもたまらん！

……（見てる見てる。猿みたいに  
鼻の下伸ばして……バカみたい）





ほら…脱ぎましたよ

おお…！  
脱ぎたてホヤホヤのマリアのパンツッ…

ほら…いつもみたい  
匂い嗅ぎたいでしょう？



あ、ああっ……!!

マリアはパンツを手で広げると、俺の前に突き出した。俺はためらいも無く、そのパンツに鼻を押しつけ匂いをかぐ。

すー、すー……

やはり脱ぎたては違うな。いつも以上に生暖かくて  
マリアの匂いがはっきりと分かる。

…よく本人の前で平然と  
本性をさらけ出せますね

いつもこんな感じで  
匂いかいでたんでしょう？

すー…すー…  
ああ…そうだよ



やばい…我慢できん…  
勃ってきた

本当にこれで  
シゴいてくれるのか…？

ええ



じゃあそこに  
座って下さい

マリアはベッドにわざわざ  
ビニールを敷いてそこに座らせた。

あなたの汚いお尻で  
ベッドが汚れたら嫌ですからね

くそ…俺を汚物扱いしやがって



俺がギンギンになったイチモツを取り出ししても  
マリアはおどろきもせず  
平然とパンツを亀頭に被せた

ニギニギ…

※体験版用の画像です。  
実際にはここでイラストが挿入されます。



シュツ、シュツ…  
布の擦れる音が室内に響く

き…気持ち良い…

ん…



これは慣れてる手付きだな…  
一回や二回って感じじゃないぞ…

くっ…どっで  
こういう事を覚えたんだ？

言ったじゃないですか  
こんなこと友達の間では  
普通にやってるって





…ネットとかで  
募集したりするの？

ええ、あなたみたいなたくさんいますから  
趣味をもった人なんて

実の娘ではないとはいえ、軽いショックを受けた。  
こんなにビッチだったとは…。

じゃっ

なんでこんな事してるんだ？

決まってるじゃないですか  
お金が欲しいからですよ

一体何に使うんだ？

しゅっ



そんなの知って  
どうするんです？

父親として娘の事を  
知る権利はあるだろうか？

あなたの事を父親だなんて  
一ミリも思ってませんから

.....

じゅっ



それは分かってはいるのだが  
こころもハッキリ言われると割とショックだな。

絶対に…

ん…何か言ったか？

別に…

じゅっ

それ以降、マリアは口をきかなくなり、  
一心不乱にパンツを擦っている。

はぁ……クッ……

……………早くイケっ

じゅっ



シユツ、シユツ、シユツ、シユツ、シユツ……  
手の動きがだんだん早くなる。  
俺を本気でイカせにきているようだ。

やばい……イキそう……

しゃっ  
しゃっ

あ……くっ……  
でるっ！

んっ……(うわ……凄い量……)  
気持ち悪っ

ハルハル♡



マリアは慣れた手付きでなるべく精液に触れないようにしながらパンツ越しに最後の一滴まで搾り取る。

う……くっ……

……………





パンツ…  
こんなにいっぱい汚れました

マリアは俺の精液でベトベトになったパンツを俺に見せつける。  
くっ…我慢ならん！

私のパンツを毎日嗅ぎに来て…  
本当はこうしたかったんでしょ？  
良かったですね。夢が叶って

俺は我慢できず、マリアを押し倒した。

え？  
きや……！！

いいや……まだだ……



え？

…いくら欲しいんだ？

…あなた、何やってるか分かってるんですか？  
今すぐ離れないと騒ぎますよ？

援交してるんだろ？  
いくらならいいんだ？

！私と援交  
したいんですか？

ああ…俺は君が目当てで  
君のお母さんと結婚したんだよ

…え



呆れました……  
そこまでして  
私に会いたかったんですか？

ああ。君は俺のタイプなんだ  
君とセックスできるなら  
いくらでも出そう

……一応言っておきますけど  
私処女なので  
高くつきますよ？

な……援交していないのか？

パンツ売ってる方が  
楽ですからね

まさか処女だったとは…  
これはやばいな

い…いくらなら  
挿れさせてくれるんだ？

……十万円ならいいです

じ……十万だと？

好みの女の子の処女を  
奪えるなら  
安いでしょう？

……



くそっ…  
なんてビッチなやつなんだ

それと今後は  
必ず毎月5万円の  
お小遣いを貰います

小遣いにしては  
いくら何でも多すぎだろう？



…ただでとは言いませんが  
私も一応その辺は分かってるつもりです

ええ…でもそのタイミングは私が決めます  
それ以外認めませんし  
私の命令には絶対服従です

セックスしても  
良いって言うことか…？



守れなければ  
すぐにお母さんや警察に言いますから

……それはまるで  
奴隷みたいじゃないか

別に嫌ならいいんですよ  
どうしますか？

分かった！  
約束するから  
やらせてくれっ……

……ではどうぞ

マリアはニヤリと笑う。  
俺は興奮を抑えられない様子で、ワレメに亀頭の先端を押し付ける。

※体験版は以上です  
この後挿入差分があります

# マリア

実の父親は数年前に他界。  
以来母親と二人で暮らす事になる。

お父さんっ子だったマリアは  
父親以外は父親と認めないところがあり  
母親が連れてきた何人もの父親候補をバツサリ切り捨ててきた。  
その事もあり、マリアと母親との間には微妙な空気が漂っている。

ある目的で金を稼ぐためにパンツを売ったりしていた。  
実はまだ処女。  
主人公のことはただの金としか見ていない。

面倒くさがりで  
普段は口数も少ないが、本当は感情豊かな女の子。  
援交を始めてからは主人公を嘲笑ったり罵倒したりもする一面も。

身長 152cm  
B88/W51/H80

